

## PRIMERGY BX300 スイッチブレード使用上の注意

このたびは、弊社の PRIMERGY(プライマジー) BX300 スイッチブレードをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本スイッチブレードをご使用になる上での注意事項がございますので、本書をよくお読みの上ご使用願います。

平成 15 年 1 月

富士通株式会社

### スイッチブレードのファームウェア(ランタイムコード)版数について

本スイッチブレードに適用されているファームウェア版数は[0.9.1.0 版以降]になります。これ以前の[0.3.0.2 版]が適用されたスイッチブレードと同一シャーシ内で運用することは可能ですが、ご使用される場合には注意事項が異なります。本スイッチブレードをご使用になる前に、必ず同時使用予定のスイッチブレードのファームウェア版数を以下の方法にてご確認ください。

#### [スイッチブレードのファームウェア版数の確認方法]

マネジメントブレードの Web UI を使用して確認する場合

1. 管理端末から Web UI にアクセスします。
2. 確認を行うスイッチブレードのページを表示します。
  - ・ Overview のページから「Switch Blade-X」(X はスロット番号)のリンクをクリックします。
3. 「Firmware Version」の項目に表示されるファームウェア版数を確認します。

マネジメントブレードの CLI を使用して確認する場合

1. 管理端末から CLI にログインします。
2. (1) Management Agent (5) Switch Blade の順に移動します。
3. 確認を行うスイッチブレードのスロット番号を入力します。
4. 「Switch Blade Firmware Version」の項目に表示されているファームウェア版数を確認します。

#### 版数確認時の注意事項

- ・BX300 シャーシのメイン電源を投入した状態で確認願います。(システムファンが稼動中であることを確認願います)
- ・スロット挿入直後はスイッチブレード起動中のため、版数が確認できない場合があります。1,2 分程度待ってから確認を行ってください。

同時使用予定のスイッチブレードのファームウェア版数により、以下のように注意事項が異なります。ご確認されたファームウェアの版数で該当する項目をお読みください。

#### 同時使用予定のスイッチブレードのファームウェア版数が[0.9.1.0 版以降]の場合

本スイッチブレードのファームウェア版数は、同時使用予定のスイッチブレードのものと同等ですので、現状通りご使用できます。なお、以降の注意事項は無視してください。

#### 同時使用予定のスイッチブレードのファームウェア版数が[0.3.0.2 版]の場合

本スイッチブレードのファームウェア版数は、同時使用予定のスイッチブレードのものと異なります。本スイッチブレードではファームウェアのバージョンアップに伴い、いくつかの制限が解除されておりますので以降の「スイッチブレード使用時の注意事項」をお読みになり正しくご使用くださるようお願いいたします。

#### 注意

本スイッチブレードでは、ポート番号の制限が解除されているため、[0.3.0.2 版]で作成したスイッチブレードの設定情報ファイル(Configuration File)はご使用になれません。設定情報ファイル(Configuration File)は本スイッチブレードにて作成したものをご使用ください。

## スイッチブレード使用時の注意事項

本スイッチブレードでは、「PRIMERGY BX300 使用上の注意(B7FH-A054-01)」において記述されているファームウェア [0.3.0.2 版] 適用時のスイッチブレードの注意事項に比べ、以下の事項が解除されております。

### 1. Web/CLI 画面に表示されるポート番号

本スイッチブレードの Web/CLI 画面に表示されるポート番号と、そのポートに接続されるサーバブレードのスロット番号は PRIMERGY BX300 ハードウェアガイド シャーシ編「4.3.2 LAN のシャーシ内接続」に記載したとおりとなっております。以下の様にファームウェア版数 [0.3.0.2 版] での対応関係とは異なっておりますのでご注意ください。

[本スイッチブレードポート番号の対応関係]

- ◇ スロット 1/3 に搭載されるスイッチブレードのポート番号と奇数番号スロットに搭載されるサーバブレードとの接続関係

スイッチブレードポート番号	サーバブレードスロット番号
ポート 1	<u>スロット 1</u>
ポート 2	<u>スロット 3</u>
ポート 3	スロット 5
ポート 4	<u>スロット 7</u>
ポート 5	<u>スロット 9</u>
ポート 6	スロット 11
ポート 7	スロット 13
ポート 8	スロット 15
ポート 9	スロット 17
ポート 10	スロット 19

- ◇ スロット 2/4 に搭載されるスイッチブレードのポート番号と偶数番号スロットに搭載されるサーバブレードとの接続関係

スイッチブレードポート番号	サーバブレードスロット番号
ポート 1	<u>スロット 2</u>
ポート 2	<u>スロット 4</u>
ポート 3	スロット 6
ポート 4	<u>スロット 8</u>
ポート 5	<u>スロット 10</u>
ポート 6	スロット 12
ポート 7	スロット 14
ポート 8	スロット 16
ポート 9	スロット 18
ポート 10	スロット 20

[ファームウェア版数 [0.3.0.2 版] でのポート番号の対応関係]

- ◇ スロット 1/3 に搭載されるスイッチブレードのポート番号と奇数番号スロットに搭載されるサーバブレードとの接続関係

スイッチブレードポート番号	サーバブレードスロット番号
ポート 1	スロット 9
ポート 2	スロット 7
ポート 3	スロット 5
ポート 4	スロット 3
ポート 5	スロット 1
ポート 6	スロット 11
ポート 7	スロット 13
ポート 8	スロット 15
ポート 9	スロット 17
ポート 10	スロット 19

- ◇ スロット2/4 に搭載されるスイッチブレードのポート番号と偶数番号スロットに搭載されるサーバブレードとの接続関係

スイッチブレードポート番号	サーバブレードスロット番号
ポート 1	スロット 10
ポート 2	スロット 8
ポート 3	スロット 6
ポート 4	スロット 4
ポート 5	スロット 2
ポート 6	スロット 12
ポート 7	スロット 14
ポート 8	スロット 16
ポート 9	スロット 18
ポート 10	スロット 20

## 2. ping 応答のタイムアウト

運用中に、設定情報を保存するコマンド"copy running-config startup-config" や、現在の設定情報を表示するコマンド"show running-config"を実行した場合でも、本スイッチブレードに対する ping の応答は正常に動作します。

## 3. IGMP メンバーの指定に関する注意事項

IGMP 機能のディセーブル/イネーブル状態に関係なく、自由に IGMP メンバーの追加/削除が可能です。

## 4. 統計情報のクリアに関する注意事項

ネットワークの統計情報は、Web インタフェース画面と CLI 画面で参照可能ですが、それぞれ独立した情報を保持しており、個別にクリア機能を持っています。そのため、各画面にあるクリア機能では、その画面で表示される情報のみをクリアします。

本スイッチブレードでは、ファームウェア版数 [0.3.0.2 版] 適用時のスイッチブレードに比べ、以下の仕様変更に伴う注意事項があります。

### 1. MAC アドレス学習数

本スイッチブレードでは、MACアドレスの学習数が2000個を超えたことを、SNMPトラップによって通知する機能が追加されましたので、MACアドレスの学習数の上限監視に活用することが可能となりました。頻繁に、このSNMPトラップが発行される場合は、ネットワークに繋がるクライアントの数を見直し調整してください。

### 2. Web インタフェースについて

シャーシのメイン電源を入れたあと、本スイッチブレードの起動が完了するまでの間、マネジメントブレードのコンソールリダイレクション機能を使用して本スイッチブレードのCLI を開いていた場合、本スイッチブレードのWebインタフェースの初期化が行われずWebインタフェースへのアクセスができないことがあります。その場合は、コンソールリダイレクションを終了し、再度Webインタフェースへアクセスしてください。

### 3. スwitchブレードの VLAN 設定の変更について

本スイッチブレードではネットワークの運用中に VLAN の設定または変更を行わないでください。

VLAN の設定または変更時に全ポートを無効にするため、ネットワークの運用に支障をきたす場合があります。

- 以上 -